

# India Weekly

2020年3月16日

(対象期間：2020/3/9～2020/3/13)

## 【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年3月13日)

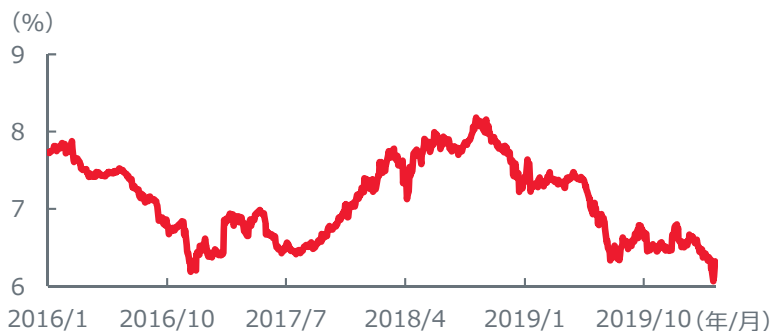


## 【株式市場】

新型コロナウイルス感染拡大への警戒感を背景に世界の株式市場が大幅に下落する中、前週経営難に陥っていたイエス銀行がインド準備銀行（中央銀行、RBI）の管理下に入ったことも投資家センチメントの重石となり、インド株式市場は大きく下落しました。13日は朝方から約10%の大幅安から始まった後、安値を拾う買いが殺到して急反発したため前日比で上昇して終わりましたが、週間では大きく下落しました。

| 2020/3/6  | 2020/3/13 | 変化率    |
|-----------|-----------|--------|
| 37,576.62 | 34,103.48 | -9.24% |

## 【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年3月13日)

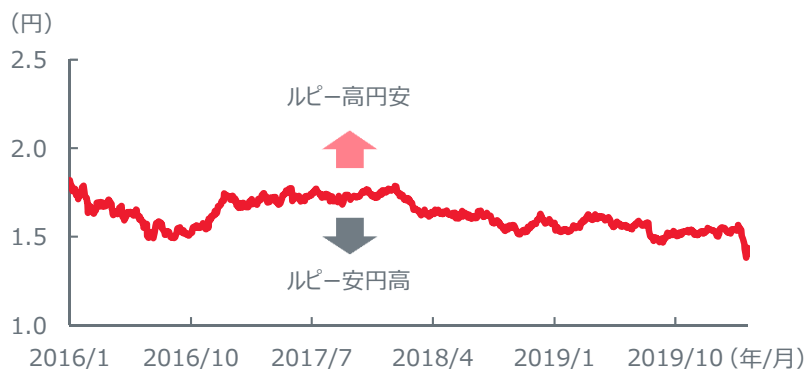


## 【債券市場】

週初は原油価格の大幅下落による利下げ再開への期待が高まり、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。週半ばからはCPI（消費者物価指数）の発表を前に利益確定の動きが強まったほか、臨時的金融政策決定会合開催の可能性が否定され、利下げ再開への期待が薄れたことによる売りも見られ、週間では利回りは上昇しました。

| 2020/3/6 | 2020/3/13 | 変化幅    |
|----------|-----------|--------|
| 6.183    | 6.322     | +0.139 |

## 【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年3月13日)



## 【為替市場】

新型コロナウイルス感染拡大への警戒感を背景に世界的にリスクオフの動きとなる中、ルピーは対米ドルで下落し、一時史上最安値をつけました。その後、CPIや貿易収支などの経済統計の改善や株式市場の上昇を受けて対米ドルでルピーが上昇したことに加え、週初に101円台まで進んでいた円高米ドル安が徐々に円安米ドル高に戻ったため、週間ではルピーは対円では上昇しました。

| 2020/3/6 | 2020/3/13 | 変化率    |
|----------|-----------|--------|
| 1.429    | 1.436     | +0.48% |

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。